

平成28年度

島根大学大学院医学系研究科

看護学専攻（修士課程）入学者選抜

試験問題

小論文

（60分間）

注意

- 1 問題紙は指示があるまで開いてはいけません。
- 2 問題紙は表紙を含めて3枚です。
- 3 志望するコースの問題について解答してください。
- 4 問題紙は持ち帰ってください。

看護管理学コース

問題 次の表1は、病院に勤務する看護職の、“インシデントから学ぶ”組織学習^{*注}を支える態度・行動の3因子の得点を、雇用形態、性別、婚姻状況、看護師経験年数の側面から比較したものです。以下の問1、問2に答えなさい。

*注

「組織学習」とは、継続的な仮説-検証をくり返しながらか、個人の経験知を組織の経験知に転化させていくプロセスを言う。組織学習は、組織の質的变化をもたらし、組織を変革していく原動力となる。

問1. 表1のデータから分かることを、解答用紙の1枚目に説明しなさい。

問2. 現在のあなたのポジションで担う看護管理上の課題を一つ挙げ、その課題解決のために、表1の結果をどのように活用すればよいと考えるか、解答用紙の2枚目に述べなさい。

表1 “インシデントから学ぶ”組織学習を支える態度・行動得点の比較

(この部分につきましては、著作権の関係により、公開しません。)

(佐々木美奈子、菅田昂也:インシデントから学ぶ組織学習を支える態度・行動尺度の開発、日本看護管理学会誌 Vol.15 No.1、2011)の表3を改題)

(この部分につきましては、著作権の関係により、公開しません。)

(近藤克則：健康格差社会 何が心と健康を蝕むのか，医学書院，2007より一部改変。)

- 問1. 図1、図2から分かることおよびその背景について解答用紙の1枚目に述べなさい。
- 問2. 問1をふまえて、地域で高齢者の支援を行うときに留意すべき点について解答用紙の2枚目に述べなさい。